株式会社自然教育研究センター

オフィシャルパートナーとしての企業紹介（参加目的等メッセージ、商材、連絡先など）

地域を巻き込んだ環境教育によって、環境保全に携わる仲間を増やしていく

担当者（問合せ先）：佐藤　　連絡先：0428-83-2037（奥多摩ビジターセンター）

CES
Center for Environmental Studies

パートナー参加に関する基本的な姿勢、考え等

＜関心のある課題、取組＞
・秩父多摩甲斐国立公園の魅力発信、マナールールの周知

＜企業等の強み等＞
・環境教育の拡充
・環境教育に携わる人材育成
・自然環境並びに環境教育的手法に関する調査研究と蓄積
・地域の環境保全推進
・インタープリテーション全体計画を作成している

＜目標、実現したいこと＞
・秩父多摩甲斐国立公園に利用者自身が興味を持ち、理解を深めることができる。そのきっかけをつくる関係者が連携し、自然環境やそこに生きる動植物、文化、暮らしが保全され、より良い形で受け継がれていく
・秩父多摩甲斐国立公園のインタープリテーション全体計画に携わる

具体的な取組内容

＜本年度の取組＞
①昭島にあるモリパークアウトドアヴィレッジにおいて2025年3月、6月、9月、12月の4回、8日間実施し、2011人に国立公園内の自然の魅力を案内した。
②国立公園の魅力を発信するイベントの企画、運営として、自然教室や子どもパークレンジャーなどの国立公園の魅力を発信するイベントを開催した。34名の応募があり、14名の参加があった。
③環境省を含む地元関係者と河川利用者への声掛けなど、マナーアップの活動を行った。1879人にルールやマナーを案内した。
SNS投稿実績：XとFacebookを合わせて35回の投稿を行った。
④環境省奥多摩自然保護官事務所へ情報共有を行った。
・巡視による同行　12月16日、17日　三条の湯巡視
・鳥類標識調査の見学　5月22日、6月23日、11月12日

＜次年度取組予定、構想＞
①モリパークアウトドアヴィレッジにおいて自然公園の魅力の案内
②国立公園の魅力を発信するイベントの企画、運営
③SNSやポスターなどの広告媒体を使用した、国立公園の魅力、マナーの発信
④環境省奥多摩自然保護官事務所への情報提供